

各種委員会活動報告

広報委員会

広報委員会 委員長 菊川 豪太（東北大学）
幹事 岡部 孝裕（弘前大学）

1. 委員会構成

委員長：菊川 豪太（東北大学）、幹事：岡部 孝裕（弘前大学）
委員：小林 芳成（岐阜大学）、長澤 剛（東京工業大学）、水嶋 祐基（静岡大学）、
諸隈 崇幸（神奈川大学）、川村 洋介（名城大学）、境田 悟志（茨城大学）

2. 委員会開催報告

2. 1 メール審議（～2021年3月14日）

- ・ニュースレターNo. 94, 95, 96 発行のための審議（原稿収集、書式統合、著者および委員校正などの作業を分担し、多くの打合せを行った）。
- ・次期体制および引継ぎの打合せおよび審議。

2. 2 第1回広報委員会（第99期&100期合同委員会）

日時・場所：2020年3月28日（月）にオンライン会議システムにて開催予定
議題：引継ぎ、第100期活動計画確認、ニュースレターNo. 97～99の内容について。

3. 活動報告

3. 1 ニュースレター発行

- ・ニュースレター No. 95（12月号）を発行し部門ホームページで公開した。ニュースレター No. 96（4月号）は現在最終校正中である。
- ・99期のニュースレター編集担当委員は、No. 94が水嶋委員、諸隈委員、No. 95が長澤委員、川村委員、No. 96が小林委員、境田委員であった。
- ・ニュースレターのコンテンツとして、各種行事案内と報告記事の他、TED Plazaに各号2報の特集記事を掲載した。

3. 2 部門ホームページの更新・維持管理

- ・部門ホームページのコンテンツを逐次、最新情報に更新した。
- ・部門概要、部門長挨拶、委員会名簿、行事予定、部門賞、新着情報掲載欄の維持管理を行った。

3. 3 インフォメーションメールの運用

- ・2021年4月～9月までは76件、2021年10月～2022年3月現在までは下記の通り75件のインフォメーションメール配信を行った。

4. 100期広報委員会構成

委員長：菊川 豪太（東北大学）、幹事：川村 洋介（名城大学）
委員：境田 悟志（茨城大学）、安藤 詩音（九州大学）、志村 敬彬（東京大学）、
出島 一仁（滋賀県立大学）、藤井 宏之（北海道大学）、三浦 正義（千葉工業大学）

	配信日	配信元組織	配信先組織	タイトル
1	2022/3/11	熱工学	熱工学	第66回理論応用力学講演会のご案内
2	2022/3/11	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機素潤滑設計	【残席まだまだあります】講習会No.22-16「往復動内燃機関の研究開発に関わる計測と診断技術およびシミュレーション技術に関する講習会」開催のご案内
3	2022/3/11	動力エネルギーシステム	熱工学, 環境工学, 情報・知能・精密機器, 産業・化学機械と安全	講習会「新燃料の最新技術と課題」のご案内
4	2022/3/9	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.22-23 講習会「IDCAEスクール: IDモデリングセミナー(2022年度) 第1回: IDモデリング概論と基礎, 方法」開催のご案内
5	2022/3/4	熱工学	熱工学	「SOFC SOEC 課題共有フォーラム」開催のご案内
6	2022/3/3	熱工学	熱工学, バイオエンジニアリング, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム, マイクロ・ナノ工学	【締切間近】No.22-15講習会「機械学習×熱・流体工学の最先端」
7	2022/3/2	熱工学	熱工学	熱工学コンファレンス2022のOS募集
8	2022/3/2	計算力学	流体工学, 熱工学, 設計工学・システム	【締切間近】講習会「機械学習×熱・流体工学の最先端」
9	2022/3/1	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	【締切延長3/11まで】第32回環境工学総合シンポジウム2022
10	2022/2/25	熱工学	熱工学	第10回実験熱流体国際会議(ExHFT-10)の抽象投稿〆切延長のご案内
11	2022/2/10	熱工学	熱工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切: 3/10(木曜)】第16.0回相変化界面研究会(3月14日(月曜) 15:00~16:30)のご案内
12	2022/2/9	熱工学	熱工学, 計算力学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	第4回燃焼工学講座のご案内(本会協賛・日本燃焼学会主催)ーオンライン開催ー
13	2022/2/8	熱工学	熱工学	Thermal No. 4 のご案内
14	2022/2/7	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, ロボティクス・メカトロニクス	FDR2022開催延期のお知らせ
15	2022/2/7	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機素潤滑設計	講習会No.22-16「往復動内燃機関の研究開発に関わる計測と診断技術およびシミュレーション技術に関する講習会」開催のご案内
16	2022/2/5	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, マイクロ・ナノ工学, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス	ハイブリッド国際会議PSFVIP13アブストラクト受付延長
17	2022/2/4	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【開催案内】第29回原子力工学国際会議(ICONE29)
18	2022/2/4	熱工学	熱工学	第10回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ(再送)
19	2022/2/1	動力エネルギーシステム	材料力学, 機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学	【教員公募】福井大学 テニユアトラック助教公募
20	2022/1/31	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	【講演申込開始】第32回環境工学総合シンポジウム2022
21	2022/1/28	熱工学	熱工学	第10回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ
22	2022/1/27	熱工学	熱工学, バイオエンジニアリング, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム, マイクロ・ナノ工学	No.22-15講習会「機械学習×熱・流体工学の最先端」
23	2022/1/27	計算力学	流体工学, 熱工学, 設計工学・システム	【開催案内】オンライン講習会「機械学習×熱・流体工学」(日時:2022年3月14日(月) 11:00~17:00)
24	2022/1/20	熱工学	熱工学	第9回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ(再送)
25	2022/1/20	マイクロ・ナノ工学	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 情報・知能・精密機器	No.21-126 講習会「マイクロ・ナノファブリケーション講習会 -エッチング加工によるマイクロ・ナノデバイス作製-」開催のご案内
26	2022/1/19	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, 環境工学	動エネシンポ講演申込み受付開始のご案内【締切:4/15(金)】
27	2022/1/14	熱工学	熱工学	第9回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ
28	2022/1/12	熱工学	熱工学	第8回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ(再送)
29	2022/1/6	熱工学	熱工学	第8回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ
30	2022/1/6	流体工学	計算力学, 熱工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	(まだ残席ございます)No. 21-117 講習会「流体とインフォーマティクス」のご案内
31	2021/12/28	熱工学	熱工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切: 1/14(金)】第15.5回相変化界面研究会のご案内
32	2021/12/22	熱工学	熱工学	第7回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ(再送)
33	2021/12/20	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	【教員公募】群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門・助教
34	2021/12/15	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム	【教員公募】(再)大阪電気通信大学 専任教員(工学部 環境科学科: 環境工学, 2022/2/28締切)
35	2021/12/13	熱工学	熱工学, 計算力学, 流体工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	第3回燃焼工学講座のご案内(本会協賛・日本燃焼学会主催)ーオンライン開催ー
36	2021/12/13	熱工学	熱工学	第7回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ
37	2021/12/8	マイクロ・ナノ工学	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 情報・知能・精密機器	No.21-126 講習会「マイクロ・ナノファブリケーション講習会 -エッチング加工によるマイクロ・ナノデバイス作製-」開催のご案内
38	2021/12/7	熱工学	熱工学	2022年度年次大会(富山大学)におけるOSの追加募集について
39	2021/12/6	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, 環境工学, 技術と社会	二酸化炭素再資源化技術によるガイア/アグニプロジェクト推進研究分科会 委員募集について
40	2021/12/6	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 設計工学・システム	二酸化炭素再資源化技術によるガイア/アグニプロジェクト推進研究分科会 クロスオーバー会議の開催について
41	2021/12/3	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.21-27 講習会「IDCAEスクール: IDモデリングセミナー(2021年度) 第4回: モータ, 製品システムのモデリング」開催のご案内
42	2021/12/2	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, エンジンシステム, マイクロ・ナノ工学	「流れの可視化講習会2022」のご案内
43	2021/12/2	熱工学	熱工学	第6回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ(再送)
44	2021/12/1	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.21-40 講習会「IDCAEスクール: Modelicaセミナー(2021年度)第4回: Modelica活用」開催のご案内
45	2021/11/30	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	講演会「IDCAE・MBDシンポジウム2021」参加登録のご案内
46	2021/12/1	熱工学	熱工学	熱工学部門ニュースレターNo.95発行のお知らせ
47	2021/11/29	エンジンシステム	熱工学	COMODIA2022 講演Abstract申込締切延長のご連絡
48	2021/11/26	熱工学	熱工学	第6回熱工学部門オンラインセミナーのお知らせ
49	2021/11/23	熱工学	熱工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切: 12/8(水)】第15.0回相変化界面研究会(12月13日(月曜) 15:00~16:30)のご案内
50	2021/11/22	エンジンシステム	熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学, 技術と社会	(11/26締切)第23回スターリングサイクルシンポジウム 開催および参加登録のお知らせ

51	2021/11/22	流体工学	計算力学, 熱工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	No. 21-117 講習会「流体とインフォーマティクス」のご案内
52	2021/11/22	環境工学	流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御, 産業・化学機械と安全	オンライン見学会「日本ーおいしい水」ができるまで! 名古屋市鍋屋上野浄水場」開催のご案内
53	2021/11/20	熱工学	熱工学, 動力エネルギーシステム	【教員公募】九州大学大学院工学研究院 機械工学部門 熱工学講座 教員(教授)公募
54	2021/11/14	熱工学	熱工学, 流体工学, エンジンシステム	【燃焼シンポジウム】脱炭素化に関する一般公開イベントについて(参加登録不要)
55	2021/11/11	マイクロ・ナノ工学	計算力学, バイオエンジニアリング, 流体工学, 熱工学	No21-105 講習会「COMSOLによるマルチフィジクス解析- 基礎からの実習と最新の活用事例紹介 -」開催のご案内
56	2021/11/5	環境工学	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 機械力学・計測制御	講習会「プログラミングで学ぶ熱物性推算」開催のご案内
57	2021/11/2	熱工学	熱工学, 情報・知能・精密機器, マイクロ・ナノ工学	【11/22】セミナー「環境発電関連技術の最先端」
58	2021/11/2	動力エネルギーシステム	熱工学, 環境工学, 技術と社会	カーボンニュートラルに向けたエネルギー貯蔵技術研究会委員の募集について
59	2021/11/1	材料力学	バイオエンジニアリング, 機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学	【教員公募】宮崎大学工学教育研究部 機械知能工学プログラム担当 准教授または助教 公募
60	2021/11/1	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	講演会「IDCAE・MBDシンポジウム2021」参加登録のご案内
61	2021/10/31	熱工学	熱工学, 動力エネルギーシステム	【登録〆切:11/12(金)】第14.5回相変化界面研究会のご案内
62	2021/10/28	計算力学	バイオエンジニアリング, 材料力学, 機械材料・材料加工, 熱工学	【締め切り:11月18日(木)17:00】12月1日(水) 計算力学部門 機械材料・材料加工部門 合同オンライン講習会
63	2021/10/25	流体工学	計算力学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	【締切延長11月15日まで】The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flows開催案内
64	2021/10/22	流体工学	計算力学, 熱工学	第35回数値流体力学シンポジウム:事前参加登録10/29締切
65	2021/10/18	動力エネルギーシステム	流体工学, 熱工学, マイクロ・ナノ工学, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス	国際会議PSFVIP13のお知らせ
66	2021/10/13	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, ロボティクス・メカトロニクス	FDR2022発表募集のご案内
67	2021/10/11	計算力学	材料力学, 流体工学, 熱工学, 設計工学・システム	【開催案内】第11回計算力学シンポジウム(日時:2021年12月6日(月)10:00-17:00)
68	2021/10/6	マイクロ・ナノ工学	計算力学, バイオエンジニアリング, 流体工学, 熱工学	No21-105 講習会「COMSOLによるマルチフィジクス解析- 基礎からの実習と最新の活用事例紹介 -」開催のご案内
69	2021/10/6	動力エネルギーシステム	機械材料・材料加工, 流体工学, 熱工学, 環境工学	ICOPE-2021参加登録期限に関するお知らせ
70	2021/10/5	流体工学	計算力学, 熱工学, エンジンシステム, 動力エネルギーシステム	(残席ございます)講習会『混相流入門・実験・数値計算の基礎から実例まで』のご案内
71	2021/10/4	エンジンシステム	流体工学, 熱工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学	基礎教育講習会-エンジン技術の基礎と応用(その34)のご案内
72	2021/10/6	熱工学	熱工学, 流体工学, 動力エネルギーシステム, 環境工学, マイクロ・ナノ工学	日本伝熱学会主催 オンライン講習会「計測技術 ~測定の基礎と設計応用~」受講者募集のご案内
73	2021/10/1	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	No.21-39 講習会「IDCAEスクール:Modelicaセミナー(2021年度)第3回:Modelica応用」開催のご案内
74	2021/10/1	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	【残席あり】No.21-91 講習会「自動車における3次元設計の現状と課題」開催のご案内
75	2021/10/1	設計工学・システム	材料力学, 流体工学, 熱工学, 機械力学・計測制御	講演会「IDCAE・MBDシンポジウム2021」開催・講演募集のご案内(締切10/15)

以上.

部門賞委員会

委員長 店橋 護
幹事 迫田 直也

構成員：店橋護（委員長）、小原拓（部門長）、鈴木雄二（前部門長）、迫田直也（幹事）、田口良広（前委員会幹事、オブザーバー）、以上敬称略

1. 委員会の開催

- 第1回委員会 日時：2021年5月7日（金）14:30-15:00
会場：Web 会議
議事：委員会の年間予定と推薦手続きの確認
- 第2回委員会 日時：2021年6月29日（火）13:30-15:00
会場：Web 会議
議事：フェロー候補者の選考、部門賞候補者の検討
- 第3回委員会 日時：2021年9月24日（金）13:00-15:00
会場：Web 会議
議事：部門賞・部門一般表彰（貢献表彰）候補者の選出
- 第4回委員会 日時：2022年1月21日（金）13:00-15:00
会場：Web 会議
議事：部門賞・部門一般表彰（貢献表彰）候補者の決定
若手優秀講演フェロー賞候補者の決定

2. フェロー候補者の推薦（学会への提出締切り9月17日）

- (1) フェロー候補者の推薦について、今期は熱工学部門のフェロー組織推薦定数は2名であること、組織推薦定数を超えた推薦は一般推薦枠として審議されることを確認。結果、部門推薦定数2名に加えて、一般推薦枠として2名、合計4名を推薦することを決定。
- (2) 前期の候補者をふまえて、委員長と幹事は候補者リストを作成（6月末）。
- (3) 幹事はそのリストを（幹事を除く）3名の部門賞委員会委員に送り、委員には「そのリストから、あるいはリスト外から委員推薦の候補者を選び、幹事宛に投票するように」依頼。
- (4) 幹事は投票結果を集計し、その結果をもとに第2回部門賞委員会において、部門推薦定数2名と一般推薦定数2名を審議・決定した後、第2回総務委員会において諮った（6月29日）。
- (5) 幹事より、総務委員会で同意が得られた推薦候補者に、部門・一般推薦の候補者となっていただくように依頼した（7月）。
- (6) 委員長・部門長・幹事は、最終的に推薦書を取りまとめ、学会本部にHPより提出した（9月16日）。
- (7) 機械学会事務局より自動返信メールが部門長宛に送信された。

3. 部門賞，部門一般表彰候補者の推薦

- ・ 運営委員会構成員には第1回運営委員会にて推薦を依頼。9月に部門ホームページに推薦書類を掲載。また、同時にインフォメーションメールで部門登録会員全員に推薦依頼（締切りは9月10日）。
- ・ 第3回部門賞委員会で部門賞・部門一般表彰候補者の選定を行った。

4. 若手優秀講演フェロー賞候補者の推薦

- ・ 若手優秀講演フェロー賞推薦に関して、年次大会（東京理科大学）、熱工学コンファレンス（佐賀大学）の委員長に推薦を依頼した。なお、依頼時に「評価プロセス手順」「評価フォーム」を併せて送付。

※本年度も年次大会および熱工学コンファレンスはWeb開催となったため、審査委員の選任は実行委員会に一任した。

5. 部門賞・部門一般表彰・若手優秀講演フェロー賞（敬称略）

●部門賞

- ・ 国際功績賞（Thermal Engineering Award for International Activity）
Sung Jin Kim（Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST)・Professor）
- ・ 研究功績賞（Thermal Engineering Award for Outstanding Academic Contribution）
丸田 薫（東北大学流体科学研究所・教授）
- ・ 技術功績賞（Thermal Engineering Award for Outstanding Technical Contribution）
岡崎 輝幸（三菱重工工業株式会社 総合研究所・主幹研究員）
- ・ 業績賞（Thermal Engineering Achievement Award）
伏信 一慶（東京工業大学・教授）

●部門一般表彰

- ・ 貢献表彰（Certificate of Merit for Thermal Engineering Contribution）
下栗 大右（広島大学・准教授）
宮良 明男（佐賀大学・教授）
巽 和也（京都大学・准教授）

●若手優秀講演フェロー賞

（注：○印が登壇者，原則として発表の翌年度の4月1日現在で26歳未満の会員が表彰対象）

1. 2021年度年次大会講演会（審査対象発表35件，贈賞数は1件）

講演番号：J052-09

講演題目：ナノ細孔アレイからの蒸発の数値シミュレーション：液相と非平衡気体流れの連成解析

研究者氏名：○今井 宏樹（東京大），佐々木 優太，松本 浩史，吉本 勇太，高木 周，
杵淵 郁也

2. 熱工学コンファレンス 2021 (審査対象発表 122 件, 贈賞数は 6 件)

講演番号 : B135

講演題目 : 核沸騰による流下液膜からの液滴飛散開始条件に及ぼす各種パラメータの影響

研究者氏名 : ○田渕 純平(電通大), Firman Raka, 大川 富雄, 上遠野 健一(日立 GE),
古市 肇(日立), 成島 勇氣

講演番号 : B212

講演題目 : 透過型電子顕微鏡による気液相変化観察に関する研究

研究者氏名 : ○川本 鳳璃(九州大), 廣川 颯汰, 生田 竜也, 手嶋 秀彰, Solís-Fernández Pablo,
吾郷 浩樹, 高橋 厚史

講演番号 : D125

講演題目 : 熱交換セクション比率の変化による扁平自励振動型ヒートパイプの熱輸送特性—
凝縮部及び蒸発部面積の場合—

研究者氏名 : ○宮川 滉平(青山学院大学院), 石井 慶子, 内田 龍貴(アドヴィックス),
尾畑 聡史, 麓 耕二(青山学院大学院)

講演番号 : G132

講演題目 : ナノ細孔流路を用いた MoS_2 表面電荷特性の評価

研究者氏名 : ○高元 昭秀(東京大), 徐 偉倫, 大宮司 啓文

講演番号 : D135

講演題目 : 2次元 TRI 法による Al 配線のマイグレーションと温度分布の関係の可視化

研究者氏名 : ○荒木 謙吾(京大院), 玉井 莞爾, 巽 和也(京大), 栗山 怜子, 中部 主敬

講演番号 : A114

講演題目 : ステレオ PIV/OH 自発光高速同時計測によるデュアルスワール非予混合火炎の火
炎基部変動特性の解明

研究者氏名 : ○服部 広暉(東工大), 志村 祐康, 店橋 護

以上

学会賞委員会

委員長 白樫 了 (東京大学)

第 99 期 熱工学部門学会賞委員会 活動報告

委員会構成 委員長 白樫 了 (東京大, 伝熱), 幹事 長谷川 洋介 (東京大, 伝熱)
委員 (覆面) デバイス系 2 名, 燃焼・計測 2 名, 熱物性 2 名 計 8 名

活動報告

- 5月10日 学会賞委員会 online 会議 委員への作業内容の説明と依頼
- 6月3日 部門インフォメーションメールにて部門推薦(自薦・他薦)の募集
締切 2019年6月28日(月) (必着)
- 6月22日 部門インフォメーションメール(リマインド)
- 6月29日~7月23日 推薦案件の選定
- 7月24日~7月30日 推薦書類の確認, 部門推薦文章の作成
- 7月30日 書類提出(電子メール添付にて学会事務局に提出)

推薦件数

<input type="checkbox"/>	日本機械学会賞(技術功績)	0件	(昨年度 0件)
<input checked="" type="checkbox"/>	日本機械学会賞(論文)	12件	(6件)
<input checked="" type="checkbox"/>	日本機械学会賞(技術)	1件	(0件)
<input checked="" type="checkbox"/>	日本機械学会奨励賞(研究)	5件	(5件)
<input type="checkbox"/>	日本機械学会奨励賞(技術)	0件	(0件)
<input type="checkbox"/>	日本機械学会教育賞	0件	(1件)
<input type="checkbox"/>	日本機械学会優秀製品賞	0件	(0件)

申し送り

- ・動き出しは, 機械学会のインフォメーションメールより前でも可.
- ・委員会活動は online 会議とメールベースで行えた.
- ・本年度より, 推薦案件を 1 件ずつ学会の表彰部会へ online システムを通じて提出することになり, 提出作業に時間を要する. 但し, 推薦案件が 10 件を超える場合は, 一括してメール添付で提出できる. 適正な部門推薦件数については, 検討をした方がよいかもしれない.
- ・online 提出では, 指定された書類以外のファイル等は提出できない.
- ・推薦案件を一括してメール添付で提出する場合も, 指定された書類以外のファイルは, 受け取った後に事務局で削除される(事務局から通知された).

以上

年次大会委員会

委員長：畠山 友行（富山県立大学）
幹事：経田 僚昭（富山高専）

<2022 年度年次大会 概要>

日程：2022 年 9 月 11 日（日）～14 日（水）
場所：富山大学 五福キャンパス（オンライン開催の場合あり）
キャッチフレーズ：「シンギュラリティがもたらす機械工学の未来」
大会テーマ：「アフターコロナにおける機械工学」, 「DX による機械技術の革新」,
「SDGs への対応」

<部門単独 OS (1 件) >

S061 乱流熱・物質輸送現象の解明と応用

(熱工学部門)

オーガナイザ 須賀 一彦（大阪府立大学）
中村 元（防衛大学校）
服部 博文（名古屋工業大学）

<部門共催 OS (8 件) >

J061 機械学習×機械工学の最先端

(熱工学部門, 流体工学部門, 計算力学部門)

オーガナイザ 塩見 淳一郎（東京大学）
櫻井 篤（新潟大学）
後藤田 浩（東京理科大学）
深淵 康二（慶應義塾大学）
大西 領（東京工業大学）
下山 幸治（東北大学）

J011 SDGs に貢献する「電子実装技術の最先端」：熱・信頼性制御技術

(計算力学部門, 材料力学部門, 熱工学部門)

オーガナイザ 池田 徹（鹿児島大学）
小金丸 正明（鹿児島大学）
三浦 英生（東北大学）
木下 貴博（富山県立大学）
畠山 友行（富山県立大学）
中川 慎二（富山県立大学）

J051 マイクロ・ナノスケールの熱流体現象

(流体工学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門)

オーガナイザ 米村 茂（宇部工業高等専門学校）
小原 拓（東北大学）
山口 浩樹（名古屋大学）
鈴木 雄二（東京大学）

J121 1DCAE・MBD のためのモデリング

(設計工学・システム部門, 機械力学・計測制御部門, 機械材料・材料加工部門,
流体工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門)

オーガナイザ 大富 浩一（明治大学）
山崎 美稀（日立製作所）

長沼 要 (金沢工業大学)
脇谷 伸 (広島大学)
岩田 宜之 (東芝インフラシステムズ)
西田 怜美 (DataLabs)
山岸 義弘 (京セラドキュメントソリューションズ)
畑 陽介 (ブラザー工業)
福江 高志 (金沢工業大学)

J181 交通・物流機械の自動運転

(交通・物流部門, 機械力学・計測制御部門, 技術と社会部門,
設計工学・システム部門, 機械材料・材料加工部門, 流体工学部門,
産業・化学機械と安全部門, 熱工学部門, 法工学専門会議,
ロボティクス・メカトロニクス部門, スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門,
生産加工・工作機械部門, 生産システム部門, 情報・知能・精密機器部門)

オーガナイザ 高田 博 (東京理科大)
中野 公彦 (東京大学)
西村 秀和 (慶應義塾大)
高田 一 (中部大学)
綿貫 啓一 (埼玉大学)
ボンサトーン ラクシンチャランサク
(東京農工大学)
林 隆三 (東京理科大学)

J222 機械工学に基づく細胞アッセイ技術

(マイクロ・ナノ工学部門, バイオエンジニアリング部門,
ロボティクス・メカトロニクス部門, 流体工学部門, 熱工学部門)

オーガナイザ 木村 啓志 (東海大学)
出口 真次 (大阪大学)
須藤 亮 (慶應義塾大学)
川原 知洋 (九州工業大学)
横川 隆司 (京都大学)
鈴木 宏明 (中央大学)
元祐 昌廣 (東京理科大学)

J225 燃料電池・二次電池とナノ・マイクロ現象

(マイクロ・ナノ工学部門, 流体工学部門, 熱工学部門, 計算力学部門, 材料力学部門,
動力エネルギーシステム部門)

オーガナイザ 徳増 崇 (東北大学)
杵淵 郁也 (東京大学)
田部 豊 (北海道大学)
大島 伸行 (北海道大学)
橋田 俊之 (東北大学)
鹿園 直毅 (東京大学)
花村 克悟 (東京工業大学)

J241 医工学テクノロジーによる医療福祉機器開発

(医工学テクノロジー推進会議, 機械力学・計測制御部門, 流体工学部門,
計算力学部門, バイオエンジニアリング部門, ロボティクス・メカトロニクス部門,
情報・知能・精密機器部門, 材料力学部門, 熱工学部門, マイクロ・ナノ工学部門,
機素潤滑設計部門)

オーガナイザ 白樫 了 (東京大学)

佐久間 淳 (京都工芸繊維大学)
藤井 文武 (山口大学)
張 月琳 (上智大学)

<その他>

・部門同好会の開催は各部門の判断に委ねられることになったが、感染症の状況を鑑みて開催しないことに決定した

環太平洋熱工学会議委員会

委員長： 店橋 護（東京工業大学）
幹 事： 津島将司（大阪大学）

1. 委員会メンバー

委員長：店橋 護（東京工業大学）
幹 事：津島将司（大阪大学）
委 員：深淵康二（慶応義塾大学，第2回 PRTEC 幹事）
来期以降，準備状況に応じて委員会構成は変更予定。

2. 第3回環太平洋熱工学会議に関する基本合意事項

第3回会議は日本機械学会(JSME)，米国熱流体工学会(ASTFE)および大韓民国機械学会(KSME)の共催で，2023年中に開催する方向で調整や打合せを行う。第2回会議会期中(2019年12月)に行われた日米韓関係者間の基本合意事項は以下の通りである。

- ・日米韓の3学会共催で各機関の代表者を co-chair として組織委員会を構成する。ただし，第3回会議は ASTFE が主体的に開催する（ホスト・ソサエティを ASTFE と設定する）。
- ・2023年12月に第3回会議を開催する。3年半前を目途に ASTFE は候補地を提案する。
- ・第3回以降の会議開催に係る損益はホスト・ソサエティ 40%，他2学会 30%で負担あるいは配分する。

3. 開催年について

2020年度(2021年3月)に韓国にて開催予定であった日韓熱流体会議が2022年度(2022年4月以降)に延期され，未だ開催の目途が立っていないこと，2022年度に南アフリカにて開催予定であった国際伝熱会議が2023年度に延期されていること等を鑑み，開催年を2024年に延期する予定である。なお，2020年度に予定されていたアジア熱科学会議(ACTS2)は1年遅れで2021年10月に開催された。

今後，ASTFE 側からの提案を待って開催地等の選定を行うが，ASTFE 側から満足できる提案がなされなかった場合，KSME 側にホスト・ソサエティを変更する等の調整を行う(第2回会議会期中に行われた上記日米韓関係者間の打合せの合意事項)。

4. 開催までの主要日程の見通し(2024年開催の場合)

1st announcement	Nov., 2022
Website open	Oct., 2023
Track, Topics and Track chairs are fixed	Oct., 2023
Plenary lectures are fixed	Oct., 2023
2nd announcement (Call for Papers)	Nov, 2023
Keynote lectures are fixed	Feb., 2024
Abstract for review due	Apr., 2024
Extend abstract for review due	June, 2024
Deadline for early-bird registration	Oct., 2024
Deadline for late registration	Nov., 2024

以上

JSME-KSME 合同会議委員会

鈴木 雄二 (東京大学, 委員長)
李 敏赫 (東京大学, 幹事)

2022 年 日韓機械学会合同・熱流体国際会議
The Tenth JSME-KSME Thermal and Fluids Engineering Conference, 2022

1) 開催日時および議長・共同議長

日時: 未定 (2022.4以降に延期)

場所: 韓国・釜山 (韓国側が対面での実施を希望)

Chair: Prof. Han Seo KO, Sungkyunkwan University (KSME, FED)
鈴木 雄二教授 (東京大学) (JSME, TED)

Co-chairs: 森西 洋平教授 (名古屋工業大学) (JSME, FED)

Prof. Yongchan Kim, Korea University (KSME, TED)

日本側幹事: 李 敏赫助教 (東京大学)

Organized Session と Session Chair は確定していたが, KSME 側からコロナの状況が見通せない
ので, 一旦 TFEC10 をキャンセルしたいという連絡があった.

JSME と KSME の部門長で今後の会議開催について相談をする必要があると考えられる.

以上

JTST 委員会

委員長： 高橋 周平 (岐阜大)
幹事： 桑名 一徳 (東京理科大)

1. 掲載状況 (2022年3月14日現在)

Vol. 1,	No. 1 (pp. 1~41) :	4 件
	No. 2 (pp. 42~148) :	9 件
Vol. 2,	No. 1 (pp. 1~133) :	12 件
	No. 2 (pp. 134~300) :	15 件
Vol. 3,	No. 1 (pp. 1~166) :	16 件
	(2007 日米熱工学会議特別号 : Guest Editor = 花村克悟 (東工大))	
	No. 2 (pp. 167~380) :	17 件
	No. 3 (pp. 381~551) :	15 件
Vol. 4,	No. 1 (pp. 1~201) :	17 件
	No. 2 (pp. 202~323) :	11 件
	No. 3 (pp. 202~436) :	14 件
	(第 7 回日韓熱流体工学会議特別号 : Guest Editor = 近久武美 (北大))	
	No. 4 (pp. 437~517) :	8 件
	(第 2 回国際伝熱フォーラム特別号 : Guest Editor = 中別府修 (明治大))	
Vol. 5,	No. 1 (pp. 1~188) :	15 件
	No. 2 (pp. 189~341) :	11 件
Vol. 6,	No. 1 (pp. 1~202) :	17 件
	No. 2 (pp. 203~322) :	12 件 (Preface を含む)
	(第 7 回国際流体力学会議特別号 : Guest Editor = 圓山重直、小原拓 (東北大))	
	No. 3 (pp. 323~485) :	13 件
Vol. 7,	No. 1 (pp. 1~349) :	27 件
	(うち 10 件は第 3 回アジア計算熱流体シンポジウムからのセレクトドペーパー : Guest Editor = 須賀一彦 (大阪府立大)、芝原正彦 (阪大))	
	No. 2 (pp. 350~404) :	6 件 (Preface を含む)
	(第 8 回国際流体力学会議特別号 : Guest Editor = 圓山重直、小原拓 (東北大))	
	No. 3 (pp. 405~496) :	9 件
	(第 4 回マイクロスケール熱流体国際会議特別号 : Guest Editor = 高橋厚史 (九大)、鹿園直毅 (東大))	
	No. 4 (pp. 497~766) :	19 件
Vol. 8,	No. 1 (pp. 1~335) :	23 件
	No. 2 (pp. 336~447) :	10 件 (Preface を含む)
	(第 9 回国際流体力学会議特別号 : Guest Editor = 圓山重直、小原拓 (東北大))	
	No. 3 (pp. 448~612) :	12 件
Vol. 9,	No. 1 (JTST1~5) :	5 件
	No. 2 (JTST6~15) :	10 件
Vol. 10,	No. 1 (JTST1~20) :	20 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST21~28) :	8 件
Vol. 11,	No. 1 (JTST1~19) :	19 件 (2 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST20~33) :	14 件
	No. 3 (JTST34~49) :	16 件 (Preface を含む)
	(First Pacific Rim Thermal Engineering Conference 特集号 : Guest Editor = 須賀一彦 (大阪府立大))	
Vol. 12,	No. 1 (JTST1~15) :	15 件 (1 件の Review Paper を含む)
	No. 2 (JTST16~38) :	23 件
Vol. 13,	No. 1 (JTST1~19) :	19 件
	No. 2 (JTST20~35) :	16 件

Vol. 14,	No. 1 (JTST1~13) :	13 件	
	No. 2 (JTST14~29) :	16 件	
Vol. 15,	No. 1 (JTST1~12) :	12 件	
	No. 2 (JTST13~21) :	9 件 (Preface を含む)	
	(Special Issue of The 7th Asian Symposium on Computational Heat Transfer and Fluid Flow : Guest Editor-in-Chief= 芝原正彦 (大阪大))		
	No. 3 (JTST22~36) :	15 件	
Vol. 16,	No. 1 (JTST1~13) :	13 件 (Preface を含む)	
	(Special Issue of the Second Pacific Rim Thermal Engineering Conference : Guest Editor-in-Chief= 芝原正彦 (大阪大))		
	No. 2 (JTST14~31) :	18 件	
	No. 3 (JTST31~41) :	11 件	
Vol. 17,	No. 1 (jtst.21-00353,271,296,410,346,390) :		6 件

2. 編修委員会

Editor-in-Chief : 高橋周平 (岐阜大)

Editors : 森昌司 (九州大/日本伝熱学会推薦)、松原幸治 (新潟大)、
麓耕二 (青山学院大)、小宮敦樹 (東北大)、桑名一徳 (東京理科大)、
戸谷剛 (北海道大)、黒瀬良一 (京都大)、岩井裕 (京都大)

Advisory Board : 山田昇 (長岡技科大)

3. 第 99 期特記事項

・投稿数について

Impact Factor は 0.678 となった。(昨年は 0.781、一昨年は 0.686)
コロナ禍のためか、投稿数は減少した。(詳細は別紙)

・査読期間について

可決までの平均日数の目標値 (100 日) を達成できた。

・DOAJ 収載について

CC ライセンスの CC BY-NC-ND として申請した。

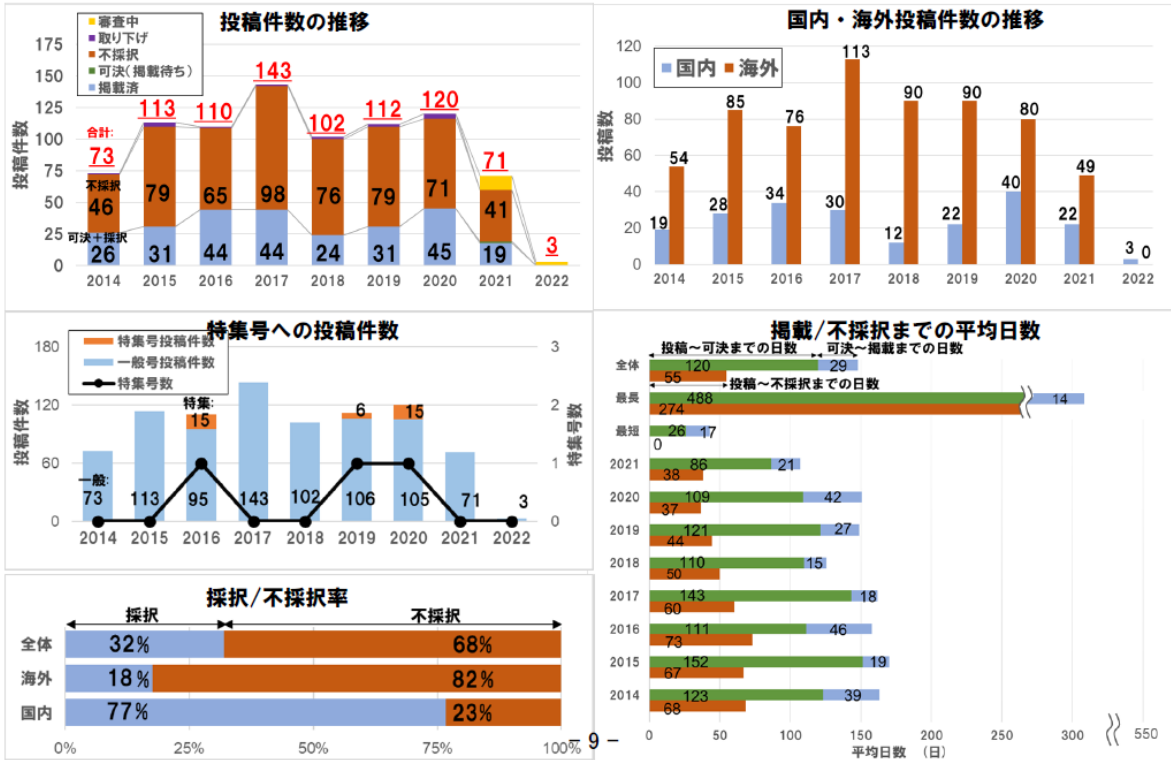
・J-Stage 早期公開機能について

早期公開機能を導入して、採択された論文をジャーナルの掲載日までの間、校正無しの原稿で公開することとした。これに伴い DOI の付け方も変更となった。

現在: 10.1299/jtst.2021jtst000X ※年 jtst 通し番号

変更: 10.1299/jtst.21-00XXX ※論文受付番号

Journal of Thermal Science and Technology (2022.2.1現在)



年鑑委員会

委員長　大宮司 啓文（東京大学）
幹事　　徐　　偉倫（東京大学）

2022年8月に電子版にて公開予定の「機械工学年鑑」の執筆者を2021年5月に以下のとおり決定し、2022年2月4日付けで学会の担当者上野氏より執筆者に正式な執筆依頼と執筆要項、原稿テンプレートが送付された。原稿締切日は2022年4月11日であり、2022年6月に原稿の査読を終了する予定である。

2022年「機械工学年鑑」 執筆者リスト

章・節・項	名 称	割当頁	執筆者に 依頼する 内容	執筆者氏名	勤務先名
8 代表者	熱工学		査読	大宮司 啓文	東京大学
8 幹事	熱工学		査読	徐 偉倫	東京大学
8.1.1	伝熱および熱力学	2000 字程度	概説	白樫 了	東京大学
8.1.2		2000 字程度	熱物性	岡島 淳之介	東北大学
8.1.3		2000 字程度	伝熱	村上 陽一	東京工業大学
8.1.4		2000 字程度	熱交換器	近藤 智恵子	長崎大学
8.2.1	燃焼および燃料	3000 字程度	燃焼	下栗 大右	広島大学
8.2.2		3000 字程度	燃焼技術・ 燃料	橋本 望	北海道大学

以上

出版委員会

委員長 濱本芳徳 (九州大学)
 幹事 仮屋圭史 (佐賀大学)
 委員 藏田耕作 (九州大学)
 委員 井上修平 (広島大学)

1. 委員会の開催

ウェブサイト「熱工学ギャラリー」(<https://g.ted-jsme.jp/>)の更新と運営、動画発表セッション「熱工学コレクション 2021 (熱コレ 2021)」の開催、ならびに学会誌特集号「画像で見る機械工学」の出版(<https://www.jsme.or.jp/kaisi-volno/no-1234/>)に関して、メール会議を行った。

また「熱工学ギャラリー」への掲載を促す仕組みづくりの一つとして、動画リクエストを熱工学ギャラリーHP上で受け付ける仕組みを検討した結果、継続審議となった。

2. 熱工学ギャラリーの更新

講演者の希望に応じて、熱工学コレクションで発表いただいた動画をウェブサイト「熱工学ギャラリー」に掲載した。継続的にコンテンツを増やすことを当面の目標とする。熱工学コレクション 2021 の講演者からの掲載があった。

3. 熱コレ 2021 の開催

熱工学コンファレンス (10/9-10, 佐賀 Web) において動画発表セッション「熱コレ 2021」を企画し、5 件の講演が行われた。数多くの参加者に視聴してもらうために、昨年度に引き続き熱工学コンファレンス特設ページを介して本 OS の講演動画を会期中にオンデマンド配信した。また、視聴の呼びかけを WEB 意見交換会で行った。その結果、期間中の動画再生回数および最優秀動画賞への電子投票数も前年度に比べて増加しており、認知度の向上が確認できた。

熱コレ 2021 最優秀動画賞には「高速度赤外線カメラを用いた水のプール沸騰熱伝達メカニズムの観察」が選ばれた。後日、受賞者には熱工学コンファレンス実行委員長 (佐賀大学 宮良先生) のお名前でお賞状を贈呈した。また、「熱工学ギャラリー」にて「核沸騰熱伝達機構の観察」(<https://g.ted-jsme.jp/21002.html>)と題して動画を公開した。

なお、次年度以降も申込者を増やすために、通常の発表講演とは違うことや、複数件の演題登録をしても差し支えないことを周知するとともに、個別に登録を依頼するなどの働きかけが必要と思われる。2022 年度の熱工学コンファレンスでも動画発表セッションを企画予定である。次期委員会への引継ぎ事項とする。



図 ウェブサイト「熱工学ギャラリー」トップページに掲載した紹介バナー

4. 機械学会誌特集号の準備と出版

第 98 期の引継ぎ事項として、「画像で見る機械工学」というタイトルの特集号 (2021 年 9 月号 <https://www.jsme.or.jp/kaisi-volno/no-1234/>) が出版された。本特集号は「工学および産業界における動画活用事例」、「教育現場における動画活用事例」および「信頼のある情報の提供と利用の方法」という 3 つのテーマで構成されている。なお、学会との調整は仮屋幹事を中心に行われた。特集のねらいが冒頭に本委員会より述べられ、次いで「熱工学ギャラリーの取り組み」が藏田委員より本編で紹介された。

本特集号では分野の異なる数多くの執筆者にご協力いただきました。この場を借りて関係各位に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

以上

講習会委員会

委員長 巽 和也（京都大学）
幹事 諸隈 崇幸（神奈川大学）
長谷川 洋介（東京大学）
森本 賢一（東京大学）

1. 委員

委員長 巽 和也（京都大学）
幹事 諸隈 崇幸（神奈川大学）
長谷川 洋介（東京大学）
森本 賢一（東京大学）

2. 第99期の活動報告

・部門講習会

熱・流体工学における「機械学習」を活用した研究・開発をテーマに2021年3月10日（水）に行った講習会では、機械学習の基礎および、乱流、伝熱、燃焼の研究開発に機械学習を導入した内容について、4名の講師に講義いただいた。オンライン開催による最先端の研究に関する講演とあって、参加者155人と盛況であった。なお、東京大学の鈴木雄二先生、李 敏赫先生にWebex eventsシステムの設定と運営にて多大なご協力をいただいた。この場をお借りして感謝いたします。

内 容：No. 21-16 講習会「機械学習×熱・流体工学の最先端」
（熱工学部門・流体工学部門・計算力学部門 合同企画）

開催時期：2021年3月10日（水）

会 場：オンライン（Webex events）

講師題目・講師

11:00～12:30	機械学習の基礎	樋口知之	（中央大学）
13:40～14:40	乱流×機械学習	平 邦彦	（UCLA）
14:50～15:50	伝熱×機械学習	塩見 淳一郎	（東京大学）
16:00～17:00	燃焼×機械学習	中谷 辰爾	（東京大学）

参加者数 155名

（内訳：正員・協賛学会員 106名、特別員 2名、学生員 25名、会員外 12名、一般学生 10名）

収支

収入：2,116,900円、支出：183,501円、差引利益：1,933,399円

3. 今期の活動計画

・部門講習会

「伝熱工学資料」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用は、2021年9月16日（木）、17日（金）にオンラインにて開催され、参加者数は例年通りの人数であった（98期委員会担当）。来期の講習会は、2022年9月8日（木）、9月9日（金）（オンライン）での実施を決定した。

(参考) 過去5年間の講習会企画

企画期	テーマ名	開催日時 (企画期次年で開催)	開催場所	参加者数(学校(学生)/企業/その他)
98期 (2020)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/16(木)10:00-16:25 9/17(金)9:00-16:55	オンライン(Webex)	27名
97期 (2019)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/17(木)10:00-16:25 9/18(金)9:00-17:05	オンライン(Webex)	50名
96期 (2018)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/24(月)10:00-16:25 9/25(火)9:00-17:05	日本機械学会会議室	31名 (2(2)/24/5)
95期 (2017)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/27(木)10:00-16:25 9/28(金)9:00-17:05	日本機械学会会議室	20名 (6(1)/14/0)
94期 (2016)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/28(木)10:00-16:25 9/29(金)9:00-17:05	日本機械学会会議室	20名 (0(0)/20/0)
93期 (2015)	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	9/29(木)10:00-16:25 9/30(金)9:00-17:05	日本機械学会会議室	38名 (7(4)/28/3)

・ワークショップ

2021年のワークショップは、熱工学コンファレンス会期中に「熱工学ワークショップ」として、主に自動車での熱・エネルギー制御について企業関係者3名の講師を招いて講演いただいた。COVID-19(新型コロナウイルス)の感染防止のため熱工学コンファレンスと同様にワークショップもオンラインで開催された。熱工学コンファレンス2022(東京)は東京大学本郷キャンパスにて対面形式で開催される予定であり、本ワークショップはコンファレンス初日(2022年10月8日(土))にランチセッションとして開催する予定である。テーマ(講師)については検討中。

(参考) 過去5年間のプレコンファレンスセミナー・熱工学ワークショップ企画

企画期	テーマ名	開催日時 (企画期次年で開催)	開催場所	参加者数(学校(学生)/企業/その他) (有料参加者)
98期 (2020)	産業界で求められる伝熱研究	2021/10/9(土)	佐賀大学 (オンライン)	136名
97期 (2019)	産業界で求められる伝熱研究	2020/10/10(土)	北海道大学 (オンライン)	
96期 (2018)	産業界で求められる伝熱研究	2019/10/12(土)を予定 台風19号により中止	名古屋工業大学	台風19号の接近のため中止
95期 (2017)	産業界で求められる伝熱研究	2018/10/22(土)	富山大学	97名
94期 (2016)	(熱工学コンファレンスの開催がないためセミナーは未開催)	-	-	-
93期 (2015)	産業界における「熱マネジメント」	2016/10/22(土)	愛媛大学	90名

・部門講習会 (長谷川委員長)

計算力学技術者認定2級対策講習会が開催された。参加者数は、関東会場36名、関西会場14名であった。

3. 検討課題

・講習会企画

「伝熱工学資料」を教材にした講習会については、第99期と同一内容でオンラインにて実施する予定である。参加しやすいことも考慮して、開催を広く案内することで参加者が増えるように注力す

る。さらに、講習会の様子を踏まえて、次年度以降もオンラインにて開催するかどうかを継続して検討する。

・ワークショップ

これまでの講習会委員会、総務委員会等と情報交換し、開催に向けて実施形態の検討、テーマおよび講師の選定を進める。

以上

熱工学コンファレンス 2022 実行委員会

委員長：丸山 茂夫

幹事：千足 昇平

幹事：杵淵 郁也

1. 準備状況

■ 実行委員会

委員長：丸山 茂夫（東京大学）

幹事：千足 昇平（東京大学），杵淵 郁也（東京大学）

委員：加藤 千幸，鈴木 雄二，鹿園 直毅，高木 周，白樫 了

大宮司 啓文，塩見 淳一郎，長谷川 洋介，児玉 高志，森本 賢一

徐 偉倫，志賀 拓磨（以上，東大機械）

野村 政宏（東大電気），三田 吉郎（東大電気）

稲田 孝明（東京電機大），岩本 薫（農工大），小野 直樹（芝浦工大），

嘉副 裕（慶大），工藤 正樹（都立高専），田口 良広（慶大），

丹下 学（芝浦工大），堀 琢磨（農工大），村上 陽一（東工大），

元佑 昌廣（東理大），山本 貴博（東理大）

■ 熱工学コンファレンス 2022 開催日時・会場

開催日：2022年10月8日（土），9日（日）

開催方式：現地 or ハイブリット（またはオンライン）開催（状況に応じて対応）

現地会場：東京大学 工学部（文京区本郷7丁目）

■ 熱工学ワークショップ

講習会委員会と協力して従来と同様の方法 or ハイブリッド（またはオンライン）での実施を予定する。

開催日時：2022年10月8日（土）12:00～14:00

会場：熱工学コンファレンスの会場内

時間：昼休み

参加費：1,000円・先着の予約制とし，参加者には昼食を用意

■ 懇親会

開催日：2022年10月8日（土）

会場：東京大学山上会館東京大学本郷キャンパス 山上会館

※コロナ感染の状況に応じて，参加登録の開始（8月中旬）前に判断する。

■ 参加費等

参加登録費 [講演論文集（ダウンロード版）を含む]

一般（事前）10,000円，（当日現地参加）13,000円

学生（事前）5,000円，（当日現地参加）8,000円

懇親会会費

一般（事前）6,000円（当日現地支払）8,000円

学生（事前）4,000円（当日現地支払）6,000円

■ 講演論文集の形式と発行方法

形態：2020（北海道）と同様

(1) 原稿書式（2～6頁，英文アブストラクト付き）

(2) 簡素化した原稿書式（1頁限定，英文アブストラクト無し）

発行方法：Web配信（ダウンロード形式）

■ ホームページの開設

2022年1月20日にホームページを公開

- ・ URL : <https://www.jsme.or.jp/conference/tedconf22/index.html>
- ・ 事務局メールアドレス : tedconf22@jsme.or.jp

■ オーガナイズドセッション (OS) の募集開始

3月2日に配信済(熱工学部門登録会員宛(メーリングリスト)に配信)

応募締切: 3月31日(必要に応じて4月中旬まで延長予定)

■ 熱工学コレクション 2022 (熱コレ)

担当委員と協議(予定)

■ 会告

学会誌のWeb版4月号に掲載するために準備中

2. 今後の予定

- ・ 6月1日: 講演発表申込受付開始
- ・ 7月: プログラムの検討.
- ・ 9月中旬~10月初旬: 収支(予算)および準備状況の確認.

※新型コロナウイルス感染の状況, 東京大学の施設利用の可否などを見ながら, 講演会および懇親会の開催方式を継続的に検討する.

以上